



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／平沢清文
- 副会長／宮沢由己・小口泰史
- 幹事／河西 洋
- 会報・雑誌・広報委員長／佐藤有司

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2428 回例会 2009 年（平成 21 年）4 月 28 日（火）

司 会：山岡晴男

斉 唱：我等の生業

点 鐘：平沢清文

ラッキーNo. : No. 31 中嶋孝一

会長挨拶

皆さん今日は、春真っ盛りだと思っていましたら先日の雪には驚きました。富山からの帰り道安房峠付近では吹雪となり、翌日の新聞では北海道で 60cm の降雪と聞いて二度ビックリしてしまいました。

春といいますと鯛が産卵の季節を迎え浅場に集まって来まして、太公望たちには大物が釣れる絶好の季節になります。しかし食べる側から言いますと産卵に向かって味は落ちていきますから残念です。とは言え「人は武士、柱は檜、魚は鯛」と言うほどですから美味しいときには美味しいと言うわけです。

鯛と言いますとどなたでも 5～6 種類の名前が頭に浮かぶ程何々鯛と言う魚が多いわけです。金目鯛、石鯛、目鯛、尾長鯛、ぶ鯛、馬頭鯛、エボ鯛、石垣鯛、キンキ鯛、尼鯛等々、約 140 種類ほど有るそうですが、此等はタイ科の魚では有りません。タイ科の魚でこの辺で流通しているのはマ鯛、チ鯛、キ鯛、へ鯛、クロ鯛の 5 種類だけです。

また鯛と言えお祝いごとに良く使われ食感食味共に優れていますが、へ鯛、クロ鯛は皮目が黒いため余り使われることは有りません。以前は高級魚でしたが現在では養殖が盛んに行われ、大量に生産されており国内は元より韓国、中国にまで活魚として輸出しており、世界の人がお値打ちな価格で食べることが出来ることは嬉しいことです。私が魚屋の修行を始めたころには日本海のタイの相場は長野市場で決まると言われる程でしたが、それ程長野県で鯛の需要があったということだと思います。

幹事報告

- ・5/14(木)に新旧クラブ協議会を開催致します。次年度は 6 時から、今年度は 6 時 30 分から岡谷パークホテルで行います。時間までにお集まり下さい。よろしくお願ひします。
- ・5 月のロータリーレートは 1 \$ 98 円です。
- ・第 10 回日韓親善会議が 9/4(金)・5(土)ソウルで開催されます。参加希望の方は幹事まで申し出て下さい。詳細は事務局にお尋ね下さい。(〆切=6/10)

例会変更

松本西南RC＝5/5(火)法定休日。5/19(火)創立記念夜間例会に変更。6/9(火)→7(日)移動例会に変更。ビジター受付は5/19・6/9 12:00～13:00 例会場にて。

委員会報告

職業奉仕委員会 5/12(火)午前8時30分より健康診断を行います。問診表等レターケースにありますのでお持ち下さい。また、6/9(火)の例会は丸共ユニオンさんへの職場訪問を計画いたしました。通常通り例会と食事をし、丸共ユニオンさんのお話を伺ってから出発します。ホテル岡谷さんよりバスが出ますので、ご利用下さい。(詳細は後日ご案内します。)



卓話 「 無 題 」

宮坂 宥洪 会員

私たちは普段、日本語を漢字の意味で考える癖がついています。漢字がなかった時代の古代日本語に意味がなかったはずがないのに、そのもとの意味がなんであったかということあまり考えようとしません。

例えば、「山」という言葉があります。これを「サン」と読むのは昔の中国の音をそのままとり入れた名残です。この漢字が日本に伝えられた当時、日本人は中国音の「サン」とは別に、「やま」という読み方をすることにしました。問題は、この「訓読み」の意味です。

試みに『広辞苑』(第五版)の「やま」の項をみると、実に多くの説明が載っています。最初に「平地よりも高く隆起した地塊」とあります。これは大概の漢和辞典の「山」の説明と同じです。

ところが、「古く、神が降下し領する所とされた」とか、さらに「山野に自生するもの。また、恐ろしいもの」といった説明もあります。これらは漢和辞典には載っていない意味です。おそらく古代日本語の「やま」には漢字の「山」以上に、かなり多様な意味があったと思われます。

関連して、「よみ(黄泉)」という言葉調べてみると、「ヤミ(闇)」の転か。ヤマ(山)の転ともいう」とあり、「死後、魂が行くという所。死者が住むと信じられた国」という説明が載っています。

なぜ「黄泉」と書いて「よみ」と読むのでしょうか。「黄泉」は紛れもなく漢語で、「死者の行く所、あの世」という意味です。それと同じ意味の「よみ」という言葉が古代日本語にあったから、これを「黄泉」の日本語読み(つまり訓読み)としたのでしょう。

そこで、こういうことが言えるかもしれません。古代日本語の「やま」と「やみ」と「よみ」とは、きっと相通じる意味があったと。それは「神が降下し領する所」であり、「やま」も単に「平地

よりも高い所」ではなかったのです。

そこから生まれた言葉が「やまと」でしょう。「山処」「大和」「倭」という漢字が当てられています。いずれも古い日本の別名です。

全国の寺院が平地にあっても「山号」がついているわけは、古代より日本語の「やま」には「神聖な場所」という意味があり、なぜ神聖かという、そこは「よみ」、つまり死者の赴く処であり、霊場だったからです。

死者と祖霊を尊ぶ国。それが「やまと」なのです。

ニコニコボックス

宮坂宥洪 本日卓話をさせていただきます。

井上保子・梅垣和彦・大橋正明・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・小野 仁・河西 洋・笠原祥一・北澤洋之介・小出 篤・小松正二・白鳥修次・高木昭好・竹村一幸・中嶋孝一・濱透・濱 俊弘・林 尚孝・林 裕彦・林 靖高・原 史郎・藤森睦美・宮坂宥澄・宮沢由己・矢島 進・矢島 實・山岡晴男・山岡正邦・山岸邦太郎 卓話、宮坂宥洪師に御期待致します。

今井 紅 欠席が続きました。

小口哲男 今日が創業記念日です。

杉田隆夫 5月5日創業記念日です。

塚田昌滋 開院記念日です。今後とも宜しくお願いします。

白鳥修次 4/1 創業記念日です。今後共よろしくお祈いします。

出席報告

会員数51名、出席者41名、出席率80.39%、前々回訂正80.39%

2008-2009 年度 R I テーマ
夢をかたちに
Make Dreams Real

